

JHL NEWS

No.16

2013年12月24日

●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

琉球が湧永に快勝、プレーオフに望みつなぐ

～第38回 日本ハンドボールリーグ・第15週～

第38回日本ハンドボールリーグ・第15週は、来春1月末よりバーレーンで開催される第16回男子アジア選手権のために日程変更となった男子1試合が12月22日に大阪で行われ、5位の琉球コラソンが4位の湧永製薬に25-22と競り勝ち、初のプレーオフ進出に望みをつないだ。

大阪での湧永-琉球は、1600人を超える観衆が詰めかけた中、琉球のスローオフで試合開始。立ち上がり湧永が速攻から3連取したが、琉球が3:3の高いディフェンスで対抗すると湧永は攻めあぐんだ。その間、琉球は東長濱のステップシュートなどで12分過ぎに6-5と逆転すると、その後も棚原のロングシュートや速攻で連取し、20分13-9と4点リードを奪った。それでも湧永は、前半終盤に入って6:0ディフェンスで守り、成田のロングシュートなどで得点を重ね、12-13と1点差まで迫って前半を終了。

後半は15分過ぎまで両チームのGKの好セーブもあって一進一退のゲームが続く。17分、湧永・木村の退場の間に琉球がサイドシュートで2点リード。湧永はポストやミドルシュートで21分21-21と同点に並ぶが、終盤の勝負所でミスが相次いだ。一方の琉球は棚原のカットインなどで加点、残り1分を切って名嘉(真)が3点差となるダメ押しゴールを決め、勝利をものにした。

次週は1月11日に三重などで女子3試合が行われる。注目は1位のオムロンが3位の北國銀行を地元熊本で迎え撃つ首位攻防戦。両者の対決はオムロンが1勝1分とリードしているものの、新年最初の対決もスリリングな攻防戦が必至だ。

◆ 12月22日(日) 男子 大阪・豊中市立豊島体育館			
琉球	コラソン	25(13-12)	湧永製薬
5勝1分6敗		12-10	7勝1分5敗
1/2 9/18 棚 原	志 水	K <0/1>	
4/11 村 山	木 村	1/ 1	
3/ 8 東長濱	坂 本	1/ 3	
0/ 0 水野矢	成 田	7/14	
0/ 0 積	野 村	4/ 6	
0/ 0 榎 本	東 江	3/ 5	
1/ 1 名嘉伸	佐 藤	2/ 4	
1/ 2 松 信	樋 口	2/ 2	
K 内 田	伊 藤	K	
4/ 6 名嘉真	仁 平	2/ 2	
2/ 3 内 山	今 井	0/ 0	
0/ 0 中 村	松 村	K <1/1>	
0/ 0 連	小 川	0/ 0	
K 石 田	桑 野	0/ 0	
0/ 0 水野紀			
1/2 24/49	4(FPP)5	22/37	0/0
シュート阻止率			
0.364 4/11 内 田	志 水	6/23 0.261	
0.211 4/19 石 田	伊 藤	0/ 0 0.000	
	松 村	8/15 0.533	
0.267 8/30 (GK)		14/38 0.368	
審判(河合・臼井)	観客	1626人	

第5回チャレンジ・ディビジョン

第5回チャレンジ・ディビジョンは12月15日に愛知でA、Bブロックの各1試合が行われ、Aブロックは大同大学が同朋クラブを大差で下して開幕4連勝、トヨタ自動車と同勝点で首位に並んだ。Bブロックは2位のHONDAが3勝目をマーク。このあと両ブロックとも来春1月から2月上旬にかけてリーグ終盤を戦い、2月22、23日に愛知・トヨタスポーツセンターで決勝トーナメントと順位決定戦を行う。

〈Aブロック〉

12月15日愛知・大同大学体育館

大同大学 48 (20-5) 9 同朋クラブ
28-4

〈Bブロック〉

12月15日愛知・大同大学体育館

HONDA 26 (18-13) 24 O S A K A
8-11 SELECTION



①10得点をあげて琉球を勝利に導いた棚原

②得点王争いのトップに立った湧永・成田

第16週の日程

1月11日(土)	三重	鈴鹿市立体育館 (近鉄名古屋線白子駅徒歩10分)	15:00~	(女)	三重バイオレットアイリス × 飛驒高山ブラックブルズ岐阜
	熊本	熊本県立総合体育館 (JR鹿児島本線上熊本駅徒歩5分)	12:30~	(女)	ソニー・セミコンダクタ × H C 名 古 屋
			14:55~	(女)	オ ム 口 ン × 北 国 銀 行

男女個人ランキング 第15週終了現在

《男子》

《女子》

得点王

1 成田 幸平	(湧永製薬)	73点	(13試合)	1 宋 海林	(メイブルレッズ)	74点	(10試合)
2 信太 弘樹	(大崎電気)	72点	(12試合)	2 藤井 紫緒	(オムロン)	73点	(10試合)
2 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	72点	(11試合)	3 原 希美	(バイオレットアイリス)	71点	(11試合)
2 赤塚 孝治	(北陸電力)	72点	(11試合)	4 藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	70点	(10試合)
5 高景 淳	(大同特殊鋼)	59点	(12試合)	5 高山 智恵	(メイブルレッズ)	54点	(10試合)
6 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点	(11試合)	5 河田 知美	(北國銀行)	54点	(10試合)
7 豊田 賢治	(大崎電気)	57点	(12試合)	7 増田 寛那	(メイブルレッズ)	52点	(10試合)
8 濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点	(11試合)	8 田中美音子	(ソニーセミコンダクタ)	43点	(10試合)
9 橋口 瞳	(湧永製薬)	55点	(13試合)	9 福井 美樹	(H C 名古屋)	42点	(10試合)
10 今村 彰伸	(豊田合成)	52点	(12試合)	10 横嶋 彩	(北國銀行)	39点	(10試合)

フィールド得点

1 成田 幸平	(湧永製薬)	73点	(13試合)	1 宋 海林	(メイブルレッズ)	64点	(10試合)
2 信太 弘樹	(大崎電気)	72点	(12試合)	2 藤井 紫緒	(オムロン)	55点	(10試合)
3 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	66点	(11試合)	2 原 希美	(バイオレットアイリス)	55点	(11試合)
4 高景 淳	(大同特殊鋼)	59点	(12試合)	4 高山 智恵	(メイブルレッズ)	54点	(10試合)
5 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点	(11試合)	5 藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	46点	(10試合)
5 赤塚 孝治	(北陸電力)	58点	(11試合)	6 田中美音子	(ソニーセミコンダクタ)	43点	(10試合)
7 豊田 賢治	(大崎電気)	57点	(12試合)	7 増田 寛那	(メイブルレッズ)	41点	(10試合)
8 濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点	(11試合)	8 福井 美樹	(H C 名古屋)	39点	(10試合)
9 今村 彰伸	(豊田合成)	52点	(12試合)	9 高橋 恵	(ソニーセミコンダクタ)	38点	(10試合)
10 出村 直嗣	(豊田合成)	49点	(12試合)	10 横嶋 彩	(北國銀行)	37点	(10試合)
10 芳仲 将行	(豊田合成)	49点	(12試合)				
10 村山 裕次	(琉球コラソン)	49点	(12試合)				

シート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 豊田 賢治	(大崎電気)	57点/ 78射 0.731	1 高山 智恵	(メイブルレッズ)	54点/ 74射 0.730
2 村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	58点/ 86射 0.674	2 高橋 恵	(ソニーセミコンダクタ)	38点/ 54射 0.704
3 信太 弘樹	(大崎電気)	72点/ 117射 0.615	3 田中美音子	(ソニーセミコンダクタ)	43点/ 75射 0.573
4 出村 直嗣	(豊田合成)	49点/ 81射 0.605	4 横嶋 彩	(北國銀行)	37点/ 66射 0.561
5 高景 淳	(大同特殊鋼)	59点/ 103射 0.573	5 藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	46点/ 86射 0.535
6 成田 幸平	(湧永製薬)	73点/ 133射 0.549	6 藤井 紫緒	(オムロン)	55点/ 104射 0.529
7 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	66点/ 122射 0.541	7 宋 海林	(メイブルレッズ)	64点/ 126射 0.508
8 芳仲 将行	(豊田合成)	49点/ 100射 0.490	8 増田 寛那	(メイブルレッズ)	41点/ 92射 0.446
9 今村 彰伸	(豊田合成)	52点/ 114射 0.456	9 原 希美	(バイオレットアイリス)	55点/ 152射 0.362
10 赤塚 孝治	(北陸電力)	58点/ 131射 0.443	10 福井 美樹	(H C 名古屋)	39点/ 110射 0.355
11 濱口 直大	(トヨタ自動車東日本)	56点/ 127射 0.441			
12 村山 裕次	(琉球コラソン)	49点/ 126射 0.389			

7mスロー得点

1 藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	20点	(11試合)	1 藤井 保奈美	(ソニーセミコンダクタ)	24点	(10試合)
2 東長濱 秀希	(大崎電気)	17点	(12試合)	2 河田 知美	(北國銀行)	22点	(10試合)
3 野田 祐希	(豊田合成)	15点	(12試合)	3 藤井 紫緒	(オムロン)	18点	(10試合)
4 赤塚 孝治	(北陸電力)	14点	(11試合)	4 原 希美	(バイオレットアイリス)	16点	(11試合)
4 渡部 仁	(トヨタ車体)	14点	(12試合)	5 増田 寛那	(メイブルレッズ)	11点	(10試合)
6 平子 卓人	(大同特殊鋼)	11点	(12試合)	6 金 恩恵	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	10点	(10試合)
6 桶口 瞳	(湧永製薬)	11点	(13試合)	6 宋 海林	(メイブルレッズ)	10点	(10試合)
8 水野 裕矢	(琉球コラソン)	9点	(12試合)	8 柴田 理紗	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	7点	(9試合)
9 野村 喜亮	(大同特殊鋼)	7点	(12試合)	9 池原 綾香	(バイオレットアイリス)	6点	(11試合)
10 玉井 宏章	(トヨタ自動車東日本)	6点	(11試合)	9 吉田 起子	(オムロン)	6点	(11試合)
10 藤本 純季	(トヨタ車体)	6点	(12試合)				

シート阻止率 (フィールドシートを受けた数が、男子9位・女子7位以内のGKが対象)

1 甲斐 昭人	(トヨタ車体)	173本/ 387射 0.447	1 藤間 かおり	(オムロン)	154本/ 326射 0.472
2 志水 行孝	(湧永製薬)	157本/ 401射 0.392	2 寺田 三友紀	(北國銀行)	132本/ 296射 0.446
3 木村 昌丈	(大崎電気)	78本/ 201射 0.388	3 飛田 季実子	(ソニーセミコンダクタ)	121本/ 297射 0.407
4 川添 将典	(北陸電力)	130本/ 380射 0.342	4 毛利 久美	(バイオレットアイリス)	128本/ 318射 0.403
5 久保 侑生	(大同特殊鋼)	70本/ 208射 0.337	5 田口 舞	(メイブルレッズ)	100本/ 251射 0.398
6 藤堂 聖二	(豊田合成)	119本/ 356射 0.334	6 戸塚 純子	(H C 名古屋)	121本/ 350射 0.346
7 関口 勝志	(トヨタ自動車東日本)	143本/ 446射 0.321	7 菊池 麻美	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	87本/ 328射 0.265
8 松野 雅崇	(トヨタ紡織九州)	75本/ 248射 0.302			
9 石田 孝一	(琉球コラソン)	75本/ 256射 0.293			

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 内田 武志	(琉球コラソン)	11本/ 19射 0.579	1 藤間 かおり	(オムロン)	9本/ 33射 0.273
2 木村 昌丈	(大崎電気)	5本/ 15射 0.333	1 戸塚 純子	(H C 名古屋)	3本/ 11射 0.273
3 有江 啓	(北陸電力)	5本/ 17射 0.294	3 瀧澤 瞳子	(H C 名古屋)	3本/ 13射 0.231
4 志水 孝行	(湧永製薬)	4本/ 15射 0.267	4 毛利 久美	(バイオレットアイリス)	5本/ 23射 0.217
5 木下 国大	(トヨタ車体)	5本/ 22射 0.227	5 山根 エレナ	(バイオレットアイリス)	3本/ 15射 0.200
6 藤戸 量介	(豊田合成)	5本/ 23射 0.217	6 山中 紗里奈	(オムロン)	2本/ 11射 0.182
7 関口 勝志	(トヨタ自動車東日本)	4本/ 23射 0.174	7 菊池 麻美	(飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	5本/ 29射 0.172

第38回日本ハンドボールリーグ成績表

第15週第1日終了 12月22日

順位	男子	トヨタ車体	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製薬	琉球コラソン	トヨタ紡織九州	豊田合成	トヨタ自動車東日本	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差	
1	トヨタ車体		30 ○ 29	30 ○ 25	27 ○ 26	25 ● 20	23 ○ 28	32 ○ 14	19 ○ 24	27 △ 21	27 ○ 23	33 ○ 21	33 ○ 21	12 10 1	1 1 1	21 335	284	51	
2	大崎電気	29 ● 30		26 ● 28	30 ○ 27	25 ○ 21	33 ○ 28	37 ○ 29	25 ○ 22	34 ○ 21	33 ○ 22	36 ○ 24	30 ○ 17	12 10 0	2 2 2	20 370	301	69	
3	大同特殊鋼	25 ● 30	26 ○ 27	28 ● 26		21 ○ 19	21 ○ 17	23 △ 23	30 ○ 24	32 ○ 25	30 ○ 22	29 ○ 27	31 ○ 18	12 9 1	2 2 2	19 330	274	56	
4	湧永製薬	26 ○ 25	20 ● 23	27 ● 30		19 ● 21	34 ○ 22	22 ● 25	30 ● 34	26 ○ 22	30 ○ 28	29 △ 29	26 ○ 24	13 7 1	5 5 5	15 333	322	11	
5	琉球コラソン	28 ● 32	14 ● 19	21 ● 25	17 ● 21	23 △ 23	22 ● 34	25 ○ 22	25 ○ 23	27 ● 26	31 ○ 27	21 ○ 18	25 ○ 20	12 5 1	6 6 6	11 276	290	-14	
6	トヨタ紡織九州	24 ● 29	28 ● 33	29 ● 37	24 ● 30	25 ● 32	34 ○ 30	23 ○ 22		33 ● 34	26 ○ 27	26 ○ 24	21 ○ 24	11 4 0	7 7 7	8 321	322	-1	
7	豊田合成	27 △ 27	21 ● 25	22 ● 34	22 ● 30	28 ● 30	26 ● 27	26 ● 33	27 ○ 26	34 ○ 33	27 ○ 26	27 ● 33	21 ○ 23	12 3 1	8 8 8	7 307	341	-34	
8	トヨタ自動車東日本	23 ● 33	32 ● 33	22 ● 32	27 △ 29	29 ● 29	24 ● 26	18 ● 31	27 ● 41	27 ○ 33	32 ○ 30	21 ○ 22	25 ○ 22	11 2 1	8 8 8	5 5	291	327	-36
9	北陸電力	21 ● 33	24 ● 36	17 ● 30	18 ● 34	16 ● 31	19 ● 23	20 ● 21	20 ● 25	24 ● 34	23 ● 27	22 ● 32		11 0 0	11 11 11	0 0	224	326	-102

順位	女子	オムロン	広島メイプルレッスン	北國銀行	ソニーセミコンダクタ	三重バイオレットアイス	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差				
1	オムロン		24 ○ 23	22 ● 24	26 △ 26	27 ○ 19	22 ○ 21	25 △ 25	24 ○ 17	32 ○ 12	23 ○ 21	24 ○ 21	30 ○ 16	11 8 7	2 1 1	18 279	211	68		
2	広島メイプルレッスン	23 ● 24	24 ○ 22		22 ● 33	28 ○ 21	26 ● 22	27 ○ 20	28 ○ 25	39 ○ 20	30 ○ 17	27 ○ 14	27 ○ 14	10 8 10	0 2 2	2 16	277	218	59	
3	北國銀行	26 △ 26	19 ● 27	33 ○ 22		21 ○ 20	28 ○ 17	35 ○ 21	35 ○ 15	28 ○ 16	35 ○ 16	32 ○ 13	32 ○ 13	10 7 10	1 2 1	2 15	278	205	73	
4	ソニーセミコンダクタ	21 ● 22	25 △ 25	22 ● 26	20 ● 27		26 ○ 19		28 ○ 16	28 ○ 16	28 ○ 16	28 ○ 16	28 ○ 18	10 5 8	1 4 18	4 11	243	198	45	
5	三重バイオレットアイス	17 ● 24	12 ● 32	25 ● 30	20 ● 28	21 ● 35	19 ● 26		24 ○ 19	24 ○ 18	25 ○ 18	25 ○ 16	25 ○ 11	11 4 11	0 7 8	7 8	228	267	-39	
6	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	21 ● 23	17 ● 39	15 ● 28	16 ● 35	16 ● 25	16 ● 28	18 ● 24	18 ● 25	18 ● 21	21 ○ 18	21 ○ 20	21 ○ 18	21 ○ 18	10 2 10	0 8 8	4 4	180	265	-85
7	HC名古屋	7 ● 24	16 ● 30	14 ● 30	13 ● 32	8 ● 28	18 ● 28	11 ● 25	11 ● 23	20 ● 21	18 ● 21	20 ● 21	20 ● 21	10 0 10	0 0 10	0 0	141	262	-121	

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。